

## 5月のことば

### ～「人としての生活と心をつくる時期」～

緑にそよぐ風が気持ちいい季節。生活と心を安定させる時です。  
 人としての心を司る脳は、保育園の時代に約8割が完成されるといわれます。  
 「生活習慣 → 生活の見通し → 情緒の安定 → 正しい心」を今 大人と一緒に  
 なって体得させなければなりません。

1920年にインドのミドナプール付近で、狼とともに暮らしている二人の少女が  
 発見されました。年少児が約1歳6ヶ月、年長児が8歳位と推定でき、それぞれ  
 アマラ、カマラと名を付けて、皆で人間に戻すべく努力をしました。

しかし、彼女達のひざ・腰の関節は硬く、四つ足でしか移動できず、生肉と牛乳  
 を好み、手を使わず、地面に置かれた皿でしか食べず、70m離れた鳥の内臓を察知。  
 夜は見えるが日中は見えず、遠吠えの様な声を出す以外は音声を発しませんでした。

牧師等によって硬くなった関節のマッサージや言葉・感情を教えようとするも…  
 のどの渴いた時に「ブーブー」と声を出したり、アマラが病死した時にカマラが  
 両目から涙を流した事以外は、人間としての事が出来ず一生を終えたのです…。

幼児期のわずか2年間。そこは人間としての基盤が出来上がる大切な時期で、  
 後に修正できません。

- ・ レトルトフードを食べている子は、真の味のわからぬ人となります。
- ・ 遅寝の子は、日中、力の入らない生活を送ります。
- ・ きつい言葉をかけられた子は、人にきつい事をする人となります。
- ・ TVゲームばかりしている子は、深い思考ができぬ人となります。
- ・ キャラクターを求めていると、想像力のない人となります。
- ・ 動植物を粗末に扱うと、思いやりのない人となります。

etc…

しかし

- ・ 緑の中で手づくりの食事に「ありがとう」と言える子は、感性豊かな  
 人となります。

<sup>ザ</sup>  
The・保育園の時代を大切に育みましょう。